

制御解析手法〈古典制御理論編〉

セミナー概要

制御系の設計をするために必要となる古典制御理論の知識を学び、制御系の過渡応答や周波数応答ならびに安定判別法などをMATLAB/Simulinkを用いてシミュレーションにより理解し、フィードバック制御系の解析技術を習得します。また、当該セミナーは体系的に実施しております。



講義内容

セミナー内容

1. モデルベース開発の概要

- (1) MILS (2) RCP (3) SILS (4) PILS
(5) ACG (6) HILS

2. 制御解析の概要と手法

- (1) 微分方程式の解法
(2) 伝達関数とブロック線図
(3) 過渡応答
(4) 周波数応答

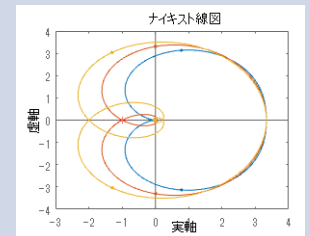
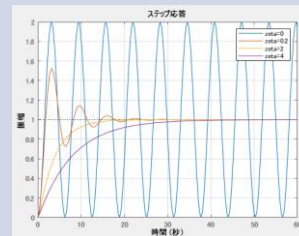
3. 安定判別法

- (1) ナイキスト線図
(2) ゲイン余裕と位相余裕

4. PID制御

- (1) 比例ゲイン (2) 積分時間 (3) 微分時間

5. 制御解析実習



案内

コース番号：E7212「制御解法手法〈古典制御理論編〉」

日程 令和5年 8月 3日(木)～4日(金) 2日間

時間 9:15～16:15

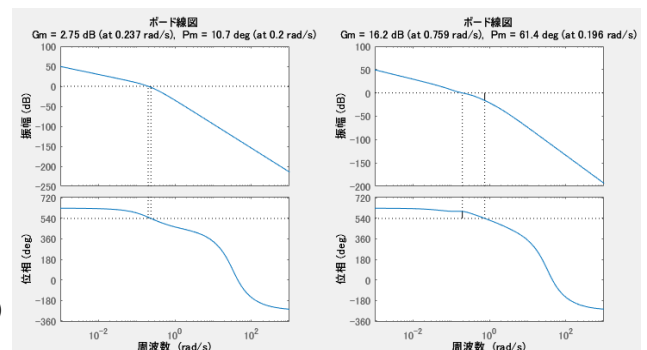
会場 ポリテクセンター中部
(小牧市下末1636-2)

受講料 12,500円

定員 10名

使用機器等

制御系設計支援ツール (MATLAB/Simulink)



お申込み／お問い合わせは

ポリテクセンター中部
○企画指導部企画課

TEL : 0568-79-0555 FAX : 0568-47-0678

E-Mail : chubu@chubu-center.ac.jp